

今年もキャンプ行事を行いました。来月は「愛育園大運動会」です。



# おひやり

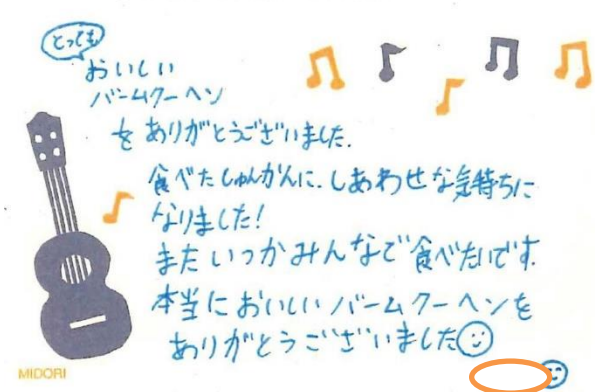
No.356

令和4年9月10日発行  
社会福祉法人円福会  
円福寺愛育園  
園長 藤本光世

## ある大学のN先生

園長 藤本光世

コロナのマスクを寄贈していただいたことから、N先生との交流が始まりました。最初は「治一郎バームクーヘン」の子どもたちへのプレゼントでした。皆さん「治一郎バームクーヘン」をご存じですか。治一郎のホームページには、「24層もの、うすくレアな層をじっくりと焼き重ねました。飲みものが要らないほどのしっとり感と、ケーキのようなふんわり感を実現した職人技の傑作をお楽しみください。」とあります。私は初めて食べました。とってもおいしいです。子どもたちもおいしいおいしいと、喜びました。子どもたちが喜んで笑顔で食べている写真にメッセージをつけて、メールに添付してお送りしました。すると先生は「やみつきになってしまった。」(先生の言葉)のです。子どもたちの笑顔のすばらしさに、そのお礼状を印刷していつも胸に入れていると、書かれていました。



それから、毎月、高級なお菓子やアイスクリームのプレゼントが続きました。アイスクリームは、ハーゲンダッツですよ。私はこれも食べたことがなかった。子どもたちは大喜びです。こんなに良くしてくださって、ぜひとも感謝の会を開きたいとお願いし、8月27日(土)に実現しま

した。先生は、11時半より少し前にお見えになりました。「全然先生らしくない!!」これが第一印象です。拍手で会場に入っただき、子どもたちに聞きました。「みんなの印象通りの先生でしたか?」全員がそうではなかったのです。

そして、私のあいさつ、児童のお礼の言葉、感謝のメッセージの色紙と手作りプレゼントの贈呈、花束贈呈、歌のプレゼントと続きました。先生はとっても喜んでくださいました。その喜び方が、また最高で、子どもたちも先生の喜んでくださった姿を見て、うれしかったと思いました。

食事会の後、私から先生を子どもたちに紹介しました。「先生は、大学で妖怪を研究しているんですよ。」子どもたちは妖怪が大好きです。「妖怪のお話してー、妖怪のお話してー」とお願いの声が高まりました。先生は、それにこたえてくださり、なんと二つも怖い妖怪のお話をしてくださったのです。それから妖怪についての子どもの質問に丁寧に答えてくださいました。

食事会が終わり、先生から東京の有名なチョコレート店のチョコレートのプレゼントがありました。ベルアメールのチョコレートです。こんなすごくおいしいチョコレートは、子どもたちは初めてだったでしょう。本当に楽しく、うれしく、素晴らしい交流会になりました。子どもたちもみんな「楽しかったー」と言っていました。

先生からお礼のメールが入りました。ご許可いただきましたので、紹介いたします。子どもたちを本当によく見てくださり、愛育園の「大きな家族 愛の家」をわかってくださいました。とっても嬉しかったです。「家庭」とは形ではありません。内容です。職員の心です。それを受けた子どもたちとの交流です。是非とも大勢の方にわかってほしいです。

昨日は身に余る歓迎にあずかり、心より御礼申し上げます。

先生のご著書やご執筆物を拝読し、先生が愛育園を継承されてからのご苦労やご尽力を仄かに伺ってまいりましたが、昨日のお子さまたちの表情を拝見して「これが藤本先生のなさってきたことの成果か!」と感銘を新たにいたしました。先生が目指される「大きな家族」という考え方も、お子さまたちと職員の皆様との雰囲気も拝見して、私なりに実感いたしました。とくに小学生の小さいお子さまたちが、とてもはつらつと安心した顔で職員の方と話をされている様子には感動を覚えました。

たらこクリームパスタの美味しさも感激でした。私は学校の給食のような昼食をイメージしていましたが、まさかファミレスのランチセットのようなお洒落なメニューとは!!

貴重なご縁を賜りましたこと、心から御礼申し上げます。頂戴した花束は帰宅してすぐに拙宅で飾らせていただきました。妻もとても感激しておりました。時計とペン立て、寄せ書きは大学の研究室に飾らせていただきます。

お子さまたちにも職員の皆様にも、どうかよろしくお伝えください。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

掲載お願いメールを送りますと、もう一つの感想が届きました。

そういえばもう一つ、感銘を受けたことがありました。

私がベルアメールのチョコレートテーブルの上に並べたときのことで。指導員の先生が、お子さまたちにどうやって配るのか、実は興味深く注目していました。と言いますのは、以前に先生がお書きになった随筆の中で、かつての愛育園で指導員の先生がケーキを切り分けたところ、年長の子がそれに反発したというエピソードが気になっていたからです。今回、指導員の先生は、ごくあたりまえのように「小さい子から好きなを選んで」とおっしゃり、年上のお子さまたちもあたりまえのようにそれを受け入れていたのは、実はとてもすごいことだと思います。

長く高校の先生をおつとめになられた藤本先生にこのようなことを申し上げるのは失礼かと思いますが、私自身は中学校や高校、大学での体育会系の「部活」の雰囲気には生理的な嫌悪を禁じ得ません。学年が上というだけで下級生よりも優遇されたり、「下級生は球拾い」「下級生は雑用」「下級生は先輩の世話」とか前時代的な悪弊にしか思えません。球拾いや雑用を下級生に押し付けて、あまつさえそれを当然のごとくに「修行」だと言い切るのは、本当に嫌です。そうした根底には掃除や雑用という業務を見下したり、あるいはそうした業務を担う人を見下したりする意識が潜んでいることも許しがたく思っています。「罰として掃除」とか最悪の思考です。掃除は罰を受けた人の仕事なのでしょうか？

そういう環境に染まると、上には媚び諂い、下には威張ることが「あたりまえ」であるかのようになってしまいます。本当に気持ち悪いことです。

しかし、愛育園では、ごくあたりまえのように「小さい子から好きなを選んで」とおっしゃり、年上のお子さまたちもあたりまえのようにそれを受け入れていらっしゃる。それをあたりまえのことになさった先生方のご尽力にはとても頭が下がる思いでした。「これが愛育園の成果か!!」と。

チカラのある年上の子が小さい子どもたちを支配し、ケーキやおかずを独り占めしていた時代から、「小さい子から好きなを選んで」と言えるようになるまでには、並々ならぬご苦労がおありだったかと拝察いたします。

また、お子さまたちがどのチョコレートがいいか迷っているときに、指導員の先生や年上の子たちが一度も急かさなかったのも素晴らしいことだと思います。とくに年上のお子さまたちが「早くしろや!!」とか言わないのは、自分たちにもかならずまわってくることを信じているからでしょう。それは指導員の先生や愛育園への信頼あつてのことだと思います。

本当にありがとうございました。

N先生、素晴らしいご感想をお寄せくださり、本当にありがとうございます。

(令和4年9月10日発行 月刊「円福」504号付録)

## 愛育園キャンプ

あおぞらホーム長 富沢正樹

愛育園は一年間の中で「愛育園キャンプ」「愛育園運動会」「愛育園祭」という三大行事があります。年間を通して他にも沢山の行事がありますが、子ども達と先生方とで「一緒に作り上げる」という要素がとりわけ大きいのが上の三つの行事になります。一緒に作り上げるというのは、キャンプで言えば、班ごとでミーティングをして食事のメニューを決めたり、班の旗作りをしたり、食器を振り分けたり、倉庫からキャンプ用品を下ろしたり、食材の買い出しに行ったり、キャンプファイヤーの練習をしたりを子ども達と先生方でワイワイ盛り上がりながらキャンプまでの日々を過ごし、当日も協力し合って楽しい時間を過ごす事を言います。子ども達が積極的に自発的に行動できる事を一番大切に、毎年、素晴らしいキャンプ行事になるのですが、今年も昨年のキャンプを上回る最高の行事にすることができました。

なんとといっても今年良かったのは、「楽しむ」という事にとっても自発的だった事です。園の子達は、けっこう恥ずかしがり屋な子が多かったりするので、楽しい事でも周りの様子を伺ってから遅れて参加したり、斜に構えたり、職員の方で盛り立てて(お膳立てして)からでないとうまくノレなかったりします。でも今年のキャンプでは、自ら「楽しむ」や、人を「楽しませよう」とする姿や雰囲気が圧倒的に今まで以上でした。

食事作りでは、一生懸命火おこしをする男の子達や、先生から料理の指示を貰って丁寧にご飯作りをする女の子達の姿があつてどの班も一体感がありました。

キャンプファイヤーでも大きな声で歌を歌ったり、レクで大はしゃぎしたりしましたが、係の子ども達がマイクから元気な声で盛り上げてくれたことによってここでも一体感が生まれました。

私はこのような一体感が生まれたキャンプをできた事が非常に嬉しく思います。なぜなら、この一体感は日頃の成果だと思うからです。日頃、子ども達が沢山の経験(主に自然遊び)を通して、毎日、気が充実して前向きに生活しているという事と、沢山遊んで関わってくれる先生方の事が大好きであるという事。その2つがキャンプでの大きな一体感に繋がっていると思うのです。

去年までのキャンプに対する私の考え方は、日頃、色んな悩みや迷いやストレスや我慢がある中で、それでも健気に日々の生活を頑張っている子ども達がキャンプの機会に普段溜め込んだ思いを爆発させて気持ちをスッキリさせてあげたいというものでした。でも今は少し変わり、「日頃から気持ちがスッキリしている方がいいに決まってる」という思いから、休日平日問わず、外に連れ出してみんなで思い切り体を動かしたり、夢中になって生き物を捕まえたり、普段からワイワイ騒がしく過ごしています。心を発散させるのはキャンプの日限定、、ではなく、活発な活動の中でいつもいつも心がスッキリしていて、キャンプはその延長上にあるスペシャル行事と考えようになりました。

普段からそのような時間を過ごしているせいか、今年の子どものキャンプの楽しみ方を見て、



自分の心の解放の仕方がすっごく上手になっている事に成長を感じました。また、先生方への安心感(愛着)が増している様子が見てとれ、先生方の日頃の努力を改めて感じました。

きっと、キャンプでの一体感が最高潮に達した時に「このまま時間が止まってくれたらなあ」と、最高の気分になれた子どもや先生は少なくなかったのではないかと思います。

います。

もう一つ、今回キャンプファイヤー係をやってくれた M さんの話をさせて下さい。レクで大きな声を出してみんなを盛り上げてくれたのですが、その後のミーティングの会で周りの子が楽しそうに談笑している中、何となく戸惑っている様子で微妙な顔の M さんがいました。私は M さんの心がよくわかりました。きっと今までの人生の中でその場を盛り上げたり、自分の発した声に大きな反応が返ってきた事など無かったのだと思いますが、キャンプファイヤーでみんなが楽しんでくれているリアクションを受けて、生まれて初めて体験する嬉しい気持ちや味わった事の無い気分の高揚に頭の整理が追いつかずどうしていいかわからない。そんな気持ちだったのではないかと思います。M さんは対人関係の取り方が上手ではありません。自信が無いので、人の気を引くためにすぐ依存したり、人を振り回して、それがもとでけっこうトラブルがあります。だからこそ、今回体験した気持ちを大切にしてほしいと思います。M さん自身にも、人を喜ばせられる力がある事や、喜ばせられたらこんなに気持ちが嬉しくなるんだという事を忘れないで欲しいです。なんというか、「正攻法でいけるじゃん！私！」そういう実感が M さんの中で芽生えてくれたら嬉しいです。

前述の通り、行事を通して子ども達の日頃の積み上げてきた成長を確認できる部分もいいですが、行事の最中に成長するまさにその瞬間を目の当たりにできるのも本当に嬉しい事です。キャンプ中、色んな子ども達のいい姿が見られましたが、私は M さんの初めて湧いた感情に戸惑っていた表情が一番印象の残りました。

充実した 2 日間のキャンプを終え、これからも普段の生活や行事で子ども達がいつでも前向きな気持ちで過ごせるような取り組みを沢山していきたいなど、そんな思いになりました。

今回、場所を貸して下さった長野市青少年錬成センターの皆様のおかげで素晴らしい体験をさせていただくことが出来ました。本当にありがとうございました。

キャンプ行事

まごころホーム宮澤穂香

今年も恒例行事のキャンプに行ってきました。今年、テーマソングが決まってから、毎日空

いた時間があればみんなで聞いて覚えました。ダンスも覚えました。なので、子どもたちの団結感やモチベーションも違ったように感じました。また、キャンプファイヤーの盛り上がりも例年以上だったように思います。子どもたちが気持ちよく歌っている姿を見て、嬉しく思いました。そして、一番よく、去年と違うところがありました。それは、毎年テントで寝ていたのですが、今年は錬成センターの宿舎をお借りし、そこで寝たことです。使った場所はきれいにしようというのは常日頃から子どもたちに伝えていますが、みんな、丁寧に掃除をしていました。特に小学生は一生懸命に取り組んでいて、楽しむところと片付けや掃除をする時のメリハリが付き、とても良かったと思います。

普段あまりできない、大自然の中で思いっきり体を動かすことや、班のみんなと協力して食事を作ることなど、貴重な経験や学びができ、良い行事となりました。

愛育園キャンプ



まごころホーム 倉石朱莉

8 月 9 日、10 日にキャンプ行事がありました。夏休みに入り、班ごとのミーティングや班旗づくりなど様々な準備を経て、無事にキャンプ当日を迎えることが出来ました。

今年のキャンプはテーマソングが 3 曲もあり、キャンプまでの期間には時間を見つけては、歌の練習やダンスの練習を頑張っている子供たちの

姿も見受けられました。練習の甲斐もあり、メインイベントである、キャンプファイヤーでは、楽しく歌や、ダンスを行う姿が多く見られました。また、有志で集まったキャンプ係の子どもたちが思いっきり盛り上げてくれ、とても楽しいキャンプファイヤーとなりました。

この 2 日間を通し、子どもたちの新たな一面を垣間見ることができた、そんなキャンプ行事となりました。

愛育園キャンプ

まごころホーム 中村彩乃

8 月 9 日、10 日に長野市青少年錬成センターへキャンプに行きました。

キャンプ行事が始まるまで子どもたちはキャンプファイヤーで歌う歌の練習をしたり、レクで行うジェスチャーゲームの練習をしていて、どれだけ楽しみにしているのかがよくわかりました。しかし、初めてのキャンプ行事であり、2 日かけて行うという大きな行事に私は不安に感じていました。ですが、いざ行事が始まり子どもたちと一緒にグループ活動をしたり、食事を作ったり、

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

キャンプファイヤーやレクをしているうちにその不安は無くなっていきました。

仲間と協力し合いながら食事を作っていく様子、キャンプファイヤーでは子どもたちも職員も皆で盛り上がり楽しんで様子、レクではそれぞれが応援し、負けても笑って励まし合っている様子などを見て最高に楽しい時間をつくり過ごせたのではないかと思います。また、キャンプ場に着くと子どもたちが荷物をどんどん運んでいる姿や、宿舎の掃除を黙々と行っている姿をみて楽しむところは楽しみ、きちんと行うべき時は黙々と行うことができる姿に感動しました。また、来年のキャンプ行事が楽しみです。

#### キャンプ



まごころホーム 遠藤あゆな

8月9、10日にキャンプへ行ってきました。準備段階から子どもたちも私も期待に胸を躍らせていました。そんな皆が楽しみにしていたキャンプでは、子どもたちの普段ではなかなか見ることの出来ない様々な姿を見ることが出来ました。

キャンプファイヤーやレクで盛り上がり目一杯楽しむ姿、夕食・朝食作りでの仲間と協力する姿、宿舎の掃除を黙々と行う姿など、今挙げた姿はほんの一握りではありますが、そんな何事にも一生懸命に挑戦する姿には圧倒され、感動しました。

この2日間で得た経験はこれからの生活の糧となっていきます。素晴らしい時間を愛育園の皆と過ごせて良かったです。来年も楽しみです。

#### 愛育園キャンプ

あおぞらホーム 藤原京平

愛育園では、8月9日10日に長野市青少年錬成センターでキャンプ行事を行いました。

私は、今回が初めてのキャンプ行事への参加という事もあり、泊りで2日間かけて行う大きな行事に少し不安を感じていました。しかし、実際に行事が始まってからは、自然あふれる環境の中で数々の体験を通して、子どもたちと一緒に自分自身も夢中になることで、不安は消えていきました。

そのような大人も子どもも夢中になることのできる様々な体験の中で特に印象に残ったのはキャンプファイヤーです。あおぞらも、まごころも、大人も子どもも、全員が一体となって歌を歌い、レクを楽しむことで最高の時間を全員で作ることができていたと思います。

その他にも、班ごとの食事作りやグループ別行動、2日目レクなど様々な体験の中で「時よ止

(令和4年9月10日発行 月刊「円福」504号付録)

まれ」と思ってしまうほど濃密な時間を過ごし、まさに今回の愛育園キャンプのテーマ「stop the time」にふさわしい最高の行事になりました。

#### 愛育園キャンプ あおぞら 児童感想

8月9、10日にキャンプがありました。今年のキャンプで心に残っていることは2つあります。1つ目は、班の人とご飯を作ることです。今年自分は班長でした。また、新しい先生方も二人いてとても良い機会だと思いをしてみようと思っていたところ、ご飯作りの際などに沢山話かけて下さり、自分も楽しく話せるようになっていたので良かったです。2つ目はキャンプファイヤーです。理由は今までで一番盛り上がり楽しかったからです。僕は今年も去年に引き続いてキャンプファイヤー係でした。係のこともしつつ、全力で楽しむことができたので良かったです。この2日間はとてもあっという間に時間が過ぎてしまいました。最高のキャンプになってよかったです。

(高2・Hくん)

キャンプに行ってきました。最初にみんなで協力して荷物運びをしました。開村式では各班の紹介とキャンプで頑張りたいことを言いました。僕は5班で班名はダイヤモンドスマイルです。開村式ではゲストの人が来てくれました。とても面白かったです。開村式の後は勾玉作りや竹細工などグループ別行動がありました。僕は勾玉作りで勾玉を好きな形にけずりました。とても楽しかったです。その後は、ご飯作り、キャンプファイヤーととても盛り上がりました。二日目は朝食を食べた後にレクをしました。どのレクもとても楽しかったです。今年のキャンプも楽しく思い出になりました。

(小6・Hくん)

#### 愛育園キャンプ まごころ 児童感想

##### 『キャンプ』

8月9、10日に、キャンプに行きました。まず、にもつをお姉さんたちがバスにはこんでいました。わたしたちは、さい後に行きました。それで、後から、バスにのって、おやつを食べました。おきるのも、早くて、ごはんも早かつ



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

たです。クイズもして、つきました。そうしたら、あいさつをして、くつのすなをはらって、入りました。その時に、「いのししがでるからきをつけろ」と紙にかいてありました。そうして、にもつをおいて、キャンプ場に行きました。それで、お話をしました。あと、いっぱいゲームをしました。ひっくり返しゲームとか山の神をさがすのをやりました。それでおそうじをして、それで、ゲームをやりました。お昼も食べました。お昼は、そばをたべました。これは、二日目です。一日目は、ごはんを作りました。夕食の時も、クロワッサンにいろんなのはさんをたべました。おいしかったです。夜も、おいしいごはんを作って、キャンプファイヤーもやりました。楽しかったです。あと、そのあとに、花火もやりました。すごく楽しかったです。いっぱい楽しい行事がありました。それは先生たちのおかげです。また、キャンプをやりたいです。

(小3・Rさん)

#### 『キャンプ』

8月9日と8月10日にキャンプに行きました。よりにクレープとアボカドとカルビスープとすいかたべました。けっこうおいしかったです。8月10日のあさは、クロワッサンとふつうパンとポトフとブルーチェをたべました。おいしかったです。キャンプは、こおろぎとぼったがいました。たのしかったです。

(小2・K君)

#### 『楽しかったキャンプ行事』

今年も去年と同じで練成センターで1泊2日ということで、8月9、10日に行きました。だけど私は部活の大会があったため、途中から合流ということになりました。私は3班でした。3班の班名は『THANK!! (サンクス)』です。これは、今年で卒園のNくんが決めてくれました。ありがとうという意味らしいです。私の目標は、自分から積極的にお手伝いをするという目標です。なぜこの目標にしたかという、一日目はほとんどいないので、二日目は自分から積極的に班の中とかで動いて、みんなにめいわくをかけないようにしようと思ったのと、少しでも人の役に立ちたいと思ったからこの目標にして、みんなで楽しい1泊2日にしようと思いました。今年のテーマはSTOP THE TIME (時間よ止まって) で、テーマ曲はWANIMAの『ともに』で、サブテーマ曲はLiSAの『炎』とHi-STANDARDの『STOP THE TIME』です。この曲はキャンプファイヤーで歌いました。キャンプファイヤーでは、ともにのダンスや、CCレモン、キャンプだほいなどなどたくさんやりました。すごく楽しかったし、山の神も出てきました。夕食はフルーツ生春巻きと、2班の人からもらった肉とりのりとキムチきゅうりを富澤先生が私たち合唱部のために竹で器と箸を作ってくれました。なので、それにのせて食べました。すごい上手に器や箸



(令和4年9月10日発行 月刊「円福」504号付録)

を作ってくれてとても嬉しかったです。大事に使いたいと思いました。花火大会もやりました。すごくきれいだったし、最後にふんしゅつ花火もやってくれました。2日目のレクでは、ネームガンマンやフラフープリレー、ひっくり返しゲーム、ジェスチャーゲーム、山の神さがしゲームもしました。フラフープリレーでは、少しむずかしかったけど勝つことができうれしかったです。山の神さがしゲームは山の神は少しむずかしいところにかくれていたの、見つけるのがとても大変でした。だけど、すごく楽しかったです。2日間ともたのしく過ごせてよかったし、練成センターさんたちにも2日間お世話になったのでしっかりとお礼のあいさつもできて良かったです。これからも行事のあと以外もがんばっていきたいです。

(中2・Mさん)



あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

猛暑の夏休みが終わり、1年で一番長い学期である、2学期に突入しました。ゆったりとして、毎日のように外遊びに行っていた生活からいきなり毎日学校に行く生活が始まり、なかなか切り替えの出来ない子達もいます。それでも、みんなネガティブな発言もなく、誰一人欠席したり遅刻したりする事なく、当たり前のごとく通えています。本当に今いるあおぞらの子たちは以前よりも頑張るようになってきていると思います。

そんな中、9月と言えば愛育園運動会。園長tから今年も開催する事を子どもたちに伝えてから、いつから練習を開始するのか気になっている子たちが出てきます。また、今年初めて本格的に参加するY君は「俺大丈夫かな〜?」といつも威勢の良さととは反対に慎重な様子もあり、昨年はお客さんの立場での参加となってしまいましたが、今年はぜひ最初から最後まで頑張りたいと思います。私が来た頃には愛育園運動会は一度途絶えてしまっていて、そして復活し続けていますが、本当に子どもから職員まで全力を尽くせる良い恒例行事となっています。今年もチーム一丸となって良い愛育園運動会を作り上げていけたらと思います。

まごころホームだより

まごころホーム 牧聖加

日差しが照り付けるような暑い日が続いていますが子どもたちは夏休みを元気いっぱい過ごしました。

8月9、10日には夏の一大行事であるキャンプへ行ってきました。当日は天気にも恵まれ、青

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和4年9月10日発行 月刊「円福」504号付録)

空の下でたくさん身体を動かし、いい汗を流し、おいしいごはんをお腹いっぱい食べました。別日には肝試しや BBQ 大会、かき氷大会をしたり、牧場に行ったりなど、とても充実した夏休みになりました。

又、夏休み中の学習にも力を入れて頑張りました。夏休みの宿題は計画的に進め、自主学習も積極的に取り組みました。中学3年生は受験生という自覚を持ち、より熱意を持って学習に取り組んでいたように思います。

夏休みも終わり、長い2学期が始まりましたが、まだまだ暑い日が続いているので、熱中症には十分気を付けて過ごしていければと思います。

調理室だより

調理員 川澄保美

8月9、10日と夏休みのキャンプ行事が錬成センターで行われました。事前準備から帰ってからの後片付けなど子供達が率先して行い、怪我もなく楽しそうな笑顔、笑いに包まれた素晴らしい2日間のキャンプでした。

<今月のメニュー>

8月12日 Rさんの誕生日メニュー

サラダうどん、鶏の唐揚げ、チョコバナナパフェ

13日 迎え盆メニュー

そうめん、天ぷら、野菜サラダ

16日 送り盆メニュー

天丼、わかめと豆腐の味噌汁、漬物

17日 H君の誕生日メニュー

ハヤシオムライス、鶏の唐揚げ、ポテトサラダ、いちごパフェ

23日 Y君の誕生日メニュー

帆立バター醤油ご飯、鶏の唐揚げ、ポテトサラダ、ミルクレープ

30日 Y君の誕生日メニュー

ねぎ玉牛丼、カリカリポテト、カミカミサラダ、スペシャルゼリー

31日 Mさんの誕生日メニュー

つけめん、クリームコロッケ、春雨サラダ、フルーツタルト

